

第25回 国際開発研究大来賞 決まる (2021年12月)

一般財団法人 国際開発機構(FASID) が主催する

おおきた しょう

第25回(2021年度)「国際開発研究 大来賞」は 下記のように決まりました。

この賞は 国際開発の分野における研究奨励と促進、良書の発掘に資するため
国際開発の様々な課題に関する 優れた指針を示す研究図書を顕彰するものです。

国家の「余白」

メコンデルタ 生き残りの社会史

京都大学東南アジア
地域研究研究所
地域研究叢書
42

下條尚志 著



そこは人が住み村もある……
しかし、何故か統治できない
20世紀最大の動乱の舞台メコンデルタ
——その生態歴史文化的特徴の中で
「国家が介入し難い空間」が作られる。


京都大学
学術出版会

日本型開発協力の形成

政策史1・1980年代まで

下村恭民

シリーズ
「日本の開発協力史を
問いなおす」1



敗戦後の対アジア関係と日米関係の交錯、
「日本型」協力のイメージと実像……

いま、いくつかの「謎解き」から 鮮やかに読みなおす通史

“いまだ語られざる”アジア・世界の中の日本近現代のあゆみ

シリーズ「日本の開発協力史を問いなおす」[全7巻] 刊行開始!

東京大学出版会

【受賞作品】

『国家の「余白」-メコンデルタ
生き残りの社会史』
下條 尚志著 (京都大学学術出版会)

『日本型開発協力の形成
-政策史1・1980年代まで』
下村 恭民著 (東京大学出版会)

この受賞を祝して 表彰式典ならびに記念講演会を 2022年1月13日(木) (午後)執り行います。

-ハイブリッド式 オンライン Zoom による参加者のみを募集いたします-

本賞は、開発援助を含む国際開発の分野における課題を主たるテーマとする日本語の研究図書であって
過去1年間(今回は、2020年4月から2021年3月)に初版が国内で市販された日本語の研究図書を対象として公募しました。
みなさまによる ご推薦・応募 本賞事業へ参画いただき ありがとうございます。

【第21回 審査委員会】 委員長 杉下 恒夫 (FASID 理事長)

委員 絵所 秀紀 (法政大学 名誉教授) 大野 泉 (政策研究大学院大学 教授) 北野 尚宏 (早稲田大学 教授)
滝澤 三郎 (東洋英和女学院大学院 名誉教授) 藤田 伸子 (FASID 専務理事)